



てぶくろ

ウクライナ民話

エウゲーニー・M・ラチョフ え

うちだ りさこ やく

福音館書店 1965年 840円

16ページ 28×23cm

雪の森のなか、ねずみはおじいさんが落とした“てぶくろ”を見つけました。「ここでくらすことにするわ」と、ねずみは“てぶくろ”にもぐりこみます。そこへかえるがやってきました。動物たちは次々に増え、うさぎ・きつね・おおかみ・いのしし、最後にはなんとくままでが、“てぶくろ”のなかになかよく住み着いていきます。

擬人化された動物たちの会話のおもしろさもさることながら、“てぶくろ”のなかに、なにがなんでもはいっていかうとする彼らの姿、そして、“てぶくろ”の運命にはらはらときどき！思わずその世界にひきこまれてしまうことでしょう。想像力をかきたてる民族色豊かな絵も楽しんでください。



とり



ブライアン・ワイルドスミス ぶん・え

わたなべ しげお やく

らくだ出版 1977年 1428円

1冊 22×29cm

色彩の魔術師と言われるワイルドスミスが描く“とりの世界”をぜひ堪能してください。

ページをすすめるごとに、魅力あふれる豊かな色に彩られた、さまざまな“とり”たちが私たちをむかえてくれます。そのひょうひょうとした姿、表情、愛くるしい目、ワイルドスミスの見事な観察眼をうかがうことができるとともに、あそびどころあふれる豊かなセンスも充分に感じられます。“子どもたちへ”捧げられたワイルドスミスの愛情あふれる1冊です。

